

■Pars 積算システムマニュアル[拾いナビ]編

[Pars 積算.exe]で行うものは PartsBIM.exe で作図した図面を読み込み拾いデータを作成しMT Osub で処理する。もしくはトレースにて直接拾いを行い拾いデータを作成することです。

◇[Pars 積算 exe]で行う作業

- PartsBIM の C A Dデータを読み込み拾いデータ作成
- 下図をトレース入力で拾いデータを作成

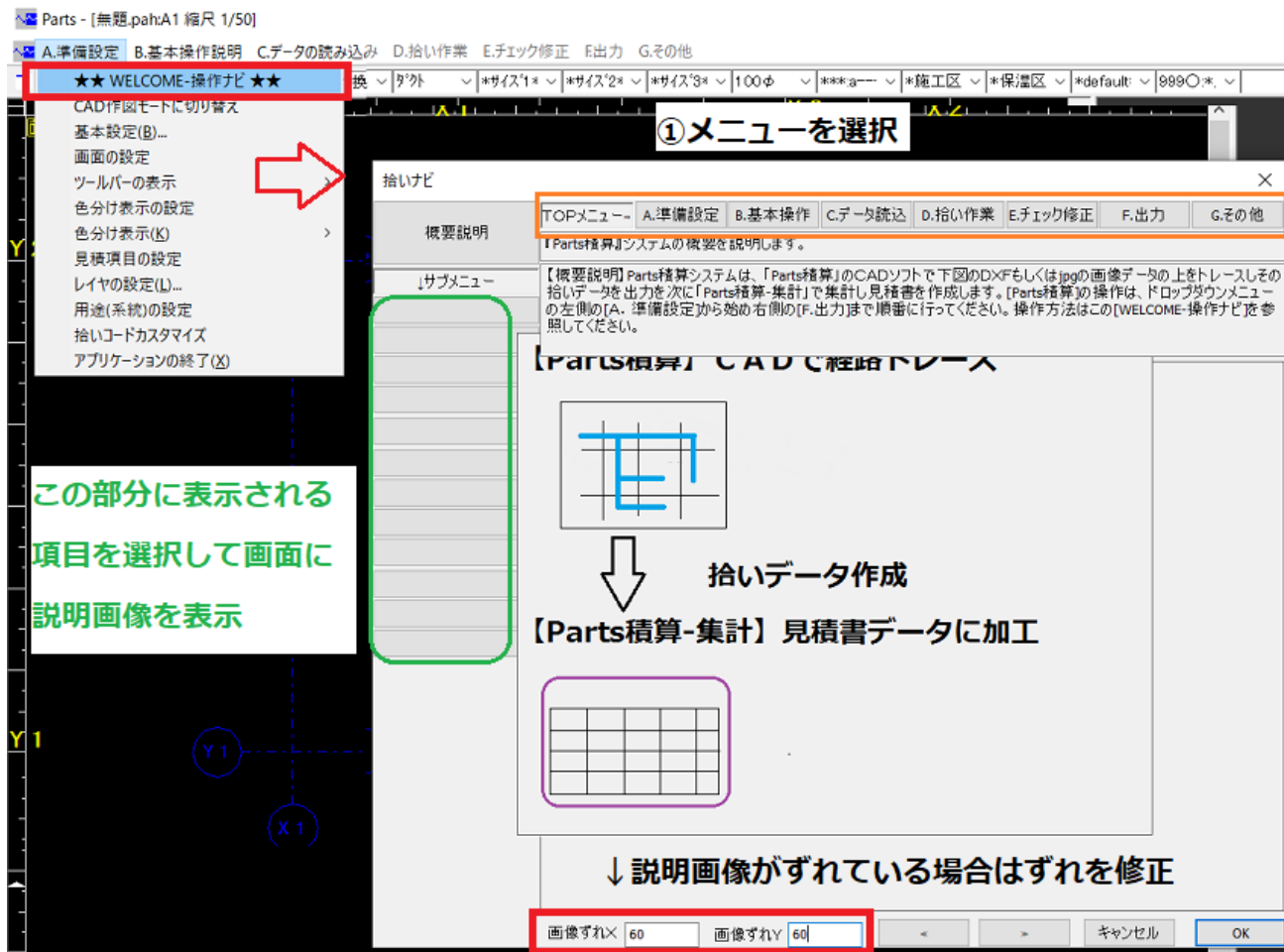
操作マニュアルはソフト内にナビという形で含まれていますので基本的にそれを参照し操作してください。

◆操作ナビに沿っての説明

[★★WELCOME-操作ナビ★★]メニューを選択し、ナビダイアログを画面に表示させます。

操作説明はドロップダウンメニューに一致しています。そのメニューの親項目を選択し左に表示されるサブメニューを選択すれば説明内容が画面に表示されます。

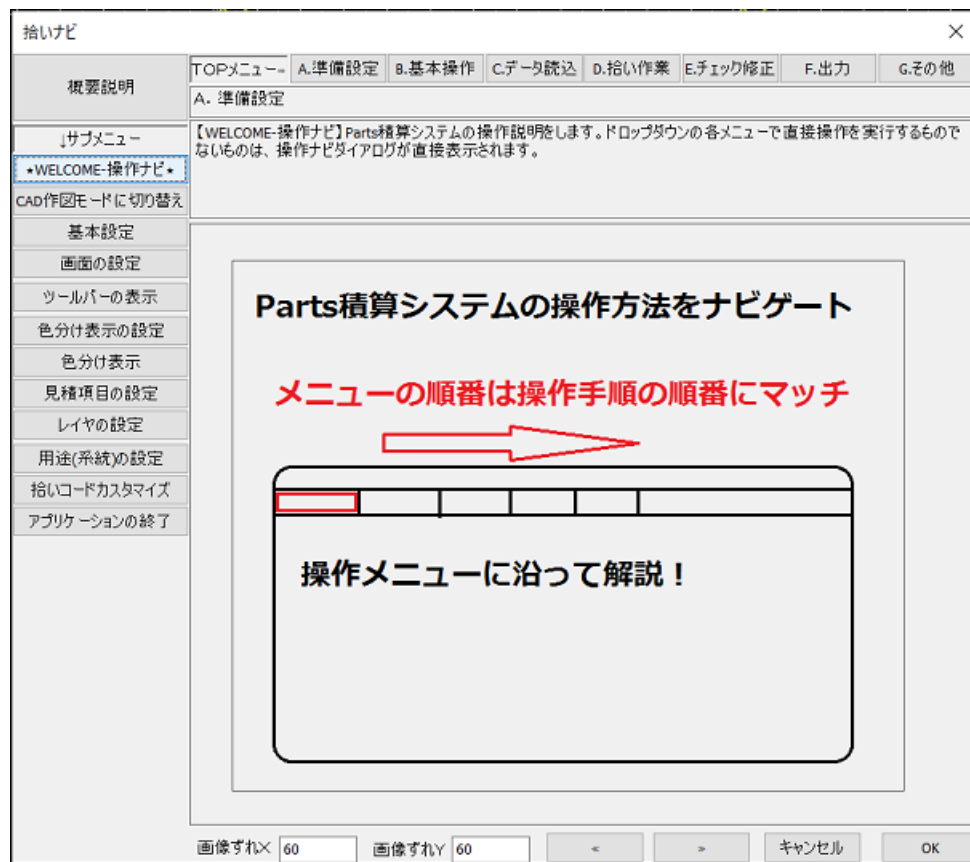
画像は画面の表示ピクセルの状態によりずれが生じますのでダイアログ下のずれの数値を調整します。



◇A. 準備設定

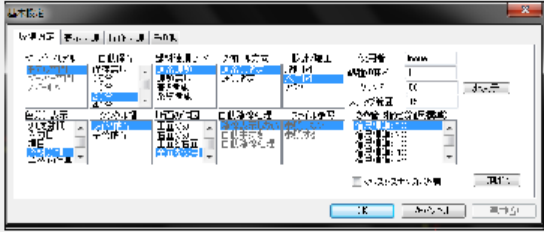
WELCOME 操作ナビ

操作メニューは左から順に操作すれば作業が進む形になっていますので順を追って一度目を通してください。



CAD 作図モードの切り替え

立ち上げ時は拾い作業専用の動作になっていますが細かな作図も合わせて行いたいという場合の為に通常のCAD操作を行えるようにと設定を変えることができます。

概要説明	TOPメニュー⇒ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
サブメニュー	A. 準備設定
WELCOME-操作ナビ	【CAD作図モードに切り替え】初期状態では、拾いモードの設定になっています。この状態はCADの細かな操作は隠した状態の拾いトレース入力専用モードです。CAD作図モードにすると基本設定のメニューで様々な細かな設定を行うことができます。またポップアップメニューもCAD操作が可能なメニューが表示されます。
CAD作図モードに切り替え	
基本設定	<p style="text-align: center;">積算モード⇒CAD作図モード</p> <p style="text-align: center;">CAD作図モードでは本格的な作図が可能</p> <p style="text-align: center;">CAD作図モードでのポップアップ⇒</p> <p style="text-align: center;">CAD作図モードの基本設定</p> 
画面の設定	
ツールバーの表示	
色分け表示の設定	
色分け表示	
見積項目の設定	
レイヤの設定	
用途(系統)の設定	
拾いコードカスタマイズ	
アプリケーションの終了	

<<EXIT>>
 取組確認(M-V-S)
 設備情報入力
 連絡簿
 文字入力
 部材入力
 *部材内入力
 →経路検索 (図面) →
 (審)修正!
 サイズ表示
 *型番サイズ表示
 寸法入力
 X断面
 Y断面
 3D指定で系統の選択
 メニューの取得/付
 数字の取出し
 マウス調整Set
 ポス取り出し
 MenuSheet Item
 マイメニュー
 7500°向き調整
 ライン番号記入
 ライン番号表示
 スプール図形全体を選択
 スプール図編集モード解除

画像ずれX 60 画像ずれY 60 < > キャンセル OK

基本設定

拾いに関連する設定をコンパクトに集約しています。細かな設定を行いたい場合はCAD作図モードに切り替えてメニューを選択してください。

概要説明	TOPメニュー	A.準備設定	B.基本操作	C.データ読込	D.拾い作業	E.チェック修正	F.出力	G.その他
	A. 準備設定							
↓サブメニュー	【基本設定】拾いモードでは、シンプルな拾い作業に必要な項目のみが表示されます。CAD作図モードでは様々な細かな設定が表示されます。							
★WELCOME-操作ナビ★								
CAD作図モードに切り替え								
基本設定								
画面の設定								
ツールバーの表示								
色分け表示の設定								
色分け表示								
見積項目の設定								
レイヤの設定								
用途(系統)の設定								
拾いコードカスタマイズ								
アプリケーションの終了								

画面の設定

概略入力画面は以下のように配置されています

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
↓サブメニュー	A. 準備設定
★WELCOME-操作ナビ★	<p>【画面の設定】ドロップダウンメニューは、[A.準備設定]から始まり、[F.その他]のメニューまで通常操作の順番に並んでいますので、その順番に操作してください。その下のツールバーではトレース入力のボタンおよび入力データの属性の修正ボタンと入力時の用途、サイズ等の属性を設定します。画面右端の個数物リストは直管以外の個数物の入力を行う場合に使用します。画面最下行はステータスバーです。ここにシステムからのメッセージは、選択した部材の属性等が表示されます。</p>
CAD作図モードに切り替え	
基本設定	
画面の設定	
ツールバーの表示	
色分け表示の設定	
色分け表示	
見積項目の設定	
レイヤの設定	
用途(系統)の設定	
拾いコードカスタマイズ	
アプリケーションの終了	

【入力画面の構成】

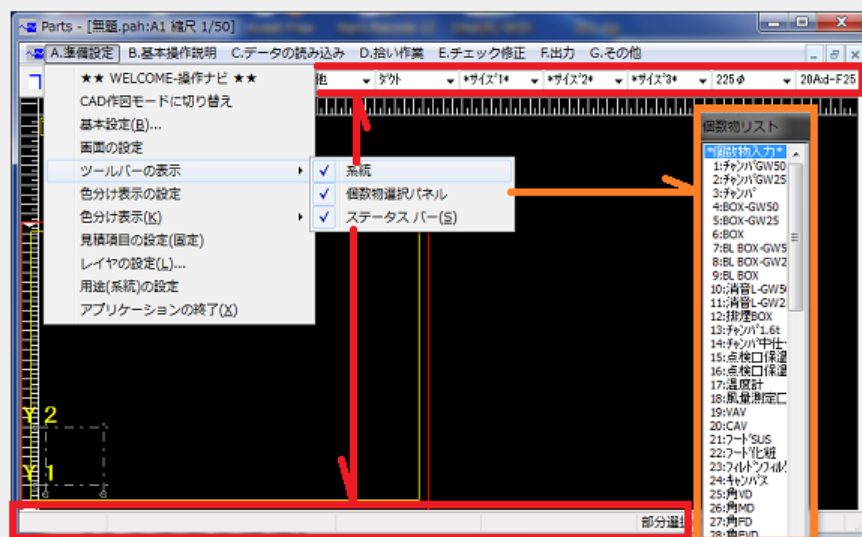
ドロップダウンメニュー（左から⇒右の順で操作）

ツールバーの表示

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
↓サブメニュー	A. 準備設定
★WELCOME-操作ナビ★	【ツールバーの表示】システムバー、個数物リスト、ステータスバーの表示/非表示を切り替えるものですが、基本的にすべて表示状態で使用します。
CAD作図モードに切り替え	
基本設定	
画面の設定	
ツールバーの表示	
色分け表示の設定	
色分け表示	
見積項目の設定	
レイヤの設定	
用途(系統)の設定	
拾いコードカスタマイズ	
アプリケーションの終了	

【ツールバーの表示】

基本的に全て表示状態にします。



色分け表示の設定

概要説明	TOPメニュー → A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	A. 準備設定
サブメニュー	【色分け表示の設定】入力データの属性を見やすくするために色分けします。その際の色分けの内容をパターンごとに設定します。
★WELCOME-操作ナビ★	
CAD作図モードに切り替え	
基本設定	
画面の設定	
ツールバーの表示	
色分け表示の設定	
色分け表示	
見積項目の設定	
レイヤの設定	
用途(系統)の設定	
拾いコードカスタマイズ	
アプリケーションの終了	

【色分け表示の設定】

① 表示色分けのパターンを選択

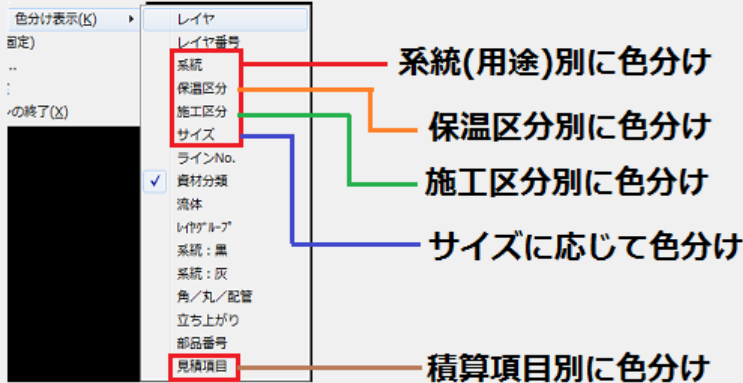
② 設定項目を選択

③ 表示色を指定

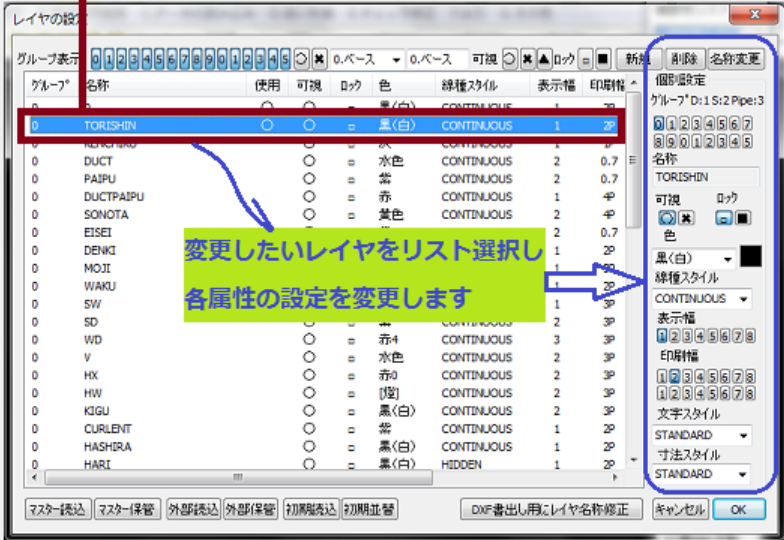
サイズモード色分けの際は別設定

配管とダクト別にサイズに応じた色指定

色分け表示

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	A. 準備設定
↓サブメニュー	【色分け表示】色分けの表示のパターンを選択します。
★WELCOME-操作ナビ★	
CAD作図モードに切り替え	
基本設定	<div style="text-align: center;"> <h3>【色分け表示】表示パターンを選択</h3>  <p>各種の色分け方法で、入力したデータの間違いをチェックします</p> </div>
画面の設定	
ツールバーの表示	
色分け表示の設定	
色分け表示	
見積項目の設定	
レイヤの設定	
用途(系統)の設定	
拾いコードカスタマイズ	
アプリケーションの終了	

レイヤの設定

概要説明	TOPメニュー → A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	A. 準備設定
↓サブメニュー	【レイヤの設定】レイヤとは各CAD図形要素の分類を意味する属性です。その属性ごとに表示/非表示を切り替えたり、色分け表示に使用して見やすくしたりする場合に使用します。また単独で文字、直線を入力する場合に現在設定されているカレントのレイヤ属性も、この【レイヤ設定】でリスト選択をすることで指定します。
★WELCOME-操作ナビ★	
CAD作図モードに切り替え	
基本設定	
画面の設定	
ツールバーの表示	
色分け表示の設定	
色分け表示	
見積項目の設定	
レイヤの設定	<p>【レイヤの設定】 図形要素の色、幅等の属性を設定しますが拾い入力の作業にはほとんど使用しません</p> <p>選択したレイヤがカレントレイヤ(図形入力されるレイヤ)になります。</p> 
用途(系統)の設定	
拾いコードカスタマイズ	
アプリケーションの終了	

用途（系統）の設定

概要説明	TOPメニュー → A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
↓サブメニュー	A. 準備設定
★WELCOME-操作ナビ★	【用途(系統)の設定】用途(系統)とは設備の属性です。この用途ごとに積算項目を指定したり、直管の材質を設定したりします。このメニューでその用途(系統)の細かな属性を指定しますが、積算ではこの用途名称は固定していますので、デフォルトのまま使用してください。
CAD作図モードに切り替え	
基本設定	
画面の設定	
ツールバーの表示	
色分け表示の設定	
色分け表示	
見積項目の設定	
レイヤの設定	
用途(系統)の設定	<p>【用途（系統）の設定】 用途名称は固定されており変更不可 用途ごとの積算項目、材質を指定</p>  <p>※ [Parts積算-集計]で設定を変更できますので通常は設定の必要はありません。</p>
拾いロードカスタマイズ	
アプリケーションの終了	

拾いコードカスタマイズ

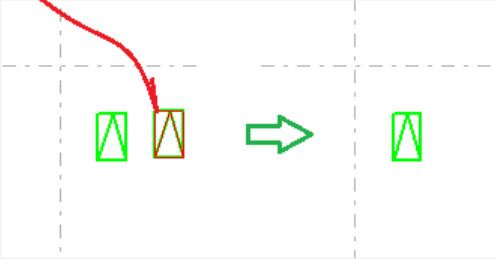
概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
↓サブメニュー	A. 準備設定
★WELCOME-操作ナビ★	【拾いコードカスタマイズ】拾い項目を手動で追加します
CAD作図モードに切り替え	
基本設定	<div style="text-align: center;"> <h3>【拾いコードカスタマイズ】</h3> </div> <p>①カテゴリーを選択 その次に登録場所のリスト選択</p> <p>リスト操作</p> <p>③シンボルの形状を選択</p> <p>④入力するサイズの個数を選択</p> <p>⑤集計される場合の分類を選択</p> <p>⑥保存ボタンで登録完了</p> <p>②名称を設定</p>
画面の設定	
ツールバーの表示	
色分け表示の設定	
色分け表示	
見積項目の設定	
レイヤの設定	
用途(系統)の設定	
拾いコードカスタマイズ	
アプリケーションの終了	

削除

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	B. 基本操作
↓サブメニュー	【削除】マウスで削除したい図形を選択し、再度確認の左クリックをすると削除できます。また部材(図形)をマウスで選択しDELキーを押しても同様に削除が出来ます。
マウス操作	
部材選択	
範囲選択	
削除	
コピー	
貼付け	
ポップアップ	

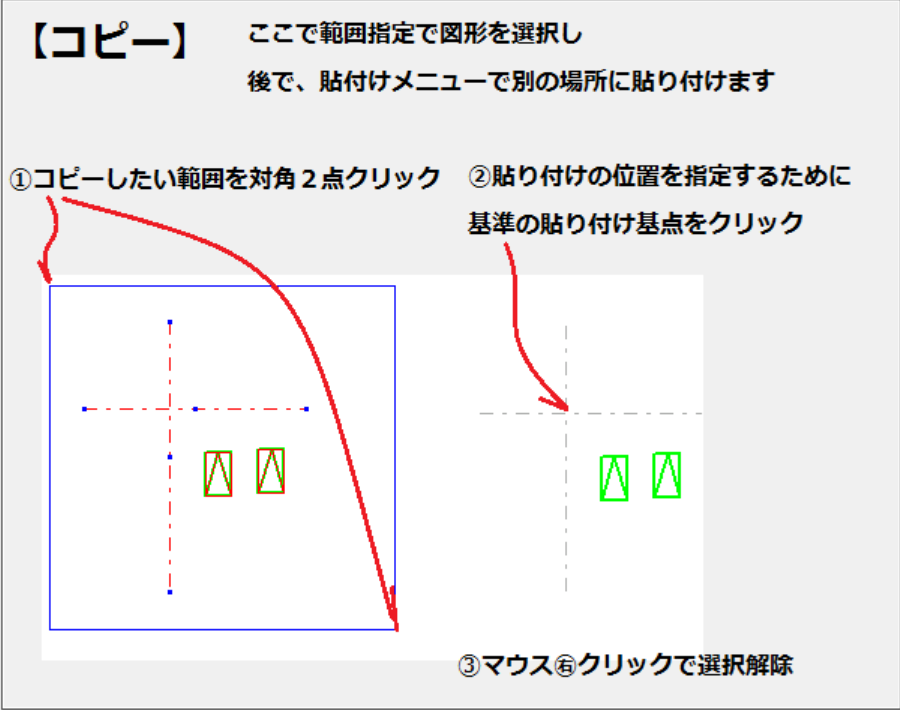
【削除】

①メニュー選択後部材をクリック
②再度右クリックで確認し削除




先に部材をクリックもしくは範囲選択して
その後 **DEL** キーを押しても削除可能

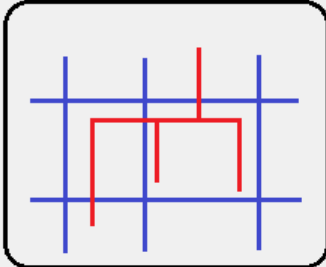
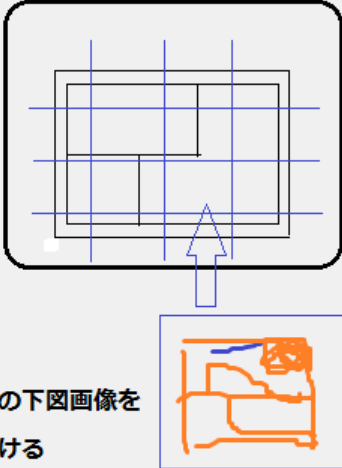
コピー

概要説明	TOPメニュー→	A.準備設定	B.基本操作	C.データ読込	D.拾い作業	E.チェック修正	F.出力	G.その他
	B. 基本操作							
↓サブメニュー	【コピー】画面上でコピーしたい図形(部材)をマウスで範囲指定します。一時的にメモリにコピーしたものは、[貼付け]のメニューで貼り付けることができます。貼り付ける際に場所を適切に指定する目的で基点を指定してください。							
マウス操作								
部材選択								
範囲選択								
削除								
コピー	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【コピー】 ここで範囲指定で図形を選択し 後で、貼付けメニューで別の場所に貼り付けます</p> <p>①コピーしたい範囲を対角2点クリック ②貼り付けの位置を指定するために 基準の貼り付け基点をクリック</p>  <p>③マウス⑥クリックで選択解除</p> </div>							
貼付け								
ポップアップ								

ポップアップ

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	B. 基本操作
サブメニュー	<p>【ポップアップ】 画面上でマウスを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューは図形選択状態によって表示される内容が異なります。何も操作していない状態での右クリックした場合のTOPのポップアップメニューでは、拾いモードでは、[範囲選択][設備経路][連続線][文字入力]のメニューが表示されます。CAD操作モードでは、さまざまなメニューが表示され本格的なCAD入力が可能になっています。なおその際に表示させるメニューの内容はカスタマイズ可能です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">【ポップアップ】</p> <p style="text-align: center;">何も操作していない状態の$\text{\textcircled{R}}$クリックでポップアップの表示</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>◆積算モード</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><<EXIT>> 範囲選択(λ°-λ) 設備経路入力 連続線 文字入力</p> </div> <p>◆部材選択時のポップアップ</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>F1:<<EXIT>> F8:削除 F1:詳細変更 F6:×印刷に]k°-</p> </div> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p>◆CADモード</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p><<EXIT>> 範囲選択(λ°-λ) 設備経路入力 連続線 文字入力 部材入力 ★部材リスト入力 =経路作図(区間) = I寄り修正! サイズ表示 ★引出サイズ表示 寸法入力 X断面 Y断面 中心指定で系統の選択 貼り付け ...</p> </div> </div> </div> </div>
マウス操作	
部材選択	
範囲選択	
削除	
コピー	
貼付け	
ポップアップ	

C. データ読み込み

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	C. データ読込
↓サブメニュー	【データの読み込み】拾い入力する際のCAD図データの読み込み等の操作を行います。拾い入力された既存のCADデータはParts形式の[* .pah]です。初期状態で下図となる図面を読み込む際は、通常DXF書式の[* .dxf]のファイルを読み込みます。
新規作成	
図面を開く	
初期設定(通り芯)	
画像(jpg)を読み込む	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <h3 style="text-align: center;">C.データ読込</h3> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>既存の拾いCADデータ [* .pah]形式の読込</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>新規入力で、下図として読み込む場合は [* .dxf]の2D図形ファイル</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">J P Gの下図画像を 貼り付ける</p> </div>
画像サイズ調整	
画像(jpg)を削除	
図面全体のサイズ変更	

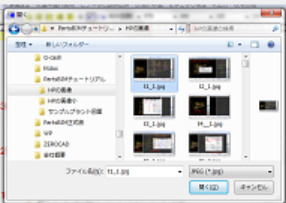
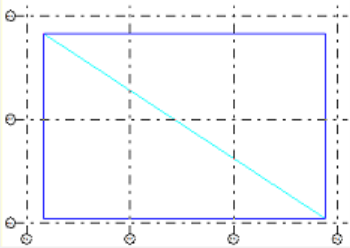
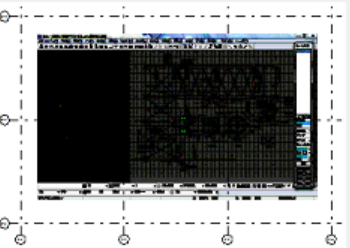
図面を開く

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	C. データ読込
↓サブメニュー	<p>【図面を開く】 既存の拾い入力された既存の図面を開きます。ファイル書式は[* .pah]です。新規で下図のDXFファイルを開く場合は読み込むファイルの種類を[* .dxf]にしてからファイルを指定してください</p> <p>【図面を開く】 既存の拾い入力したファイルを開く 先に入力した図面があるなら保存してください</p> <p>下図のDXFファイルを開く場合は読み込むファイルの種類を[* .dxf]にしてからファイルを指定してください</p>  <p>【*.pah】形式で読込</p>  
新規作成	
図面を開く	
初期設定(通り芯)	
画像(jpg)を読み込む	
画像サイズ調整	
画像(jpg)を削除	
図面全体のサイズ変更	

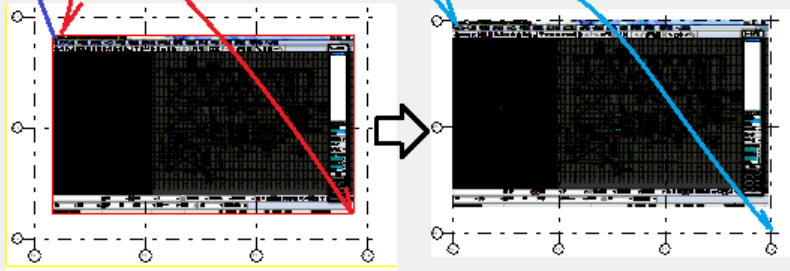
初期設定 (通り芯)

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	C. データ読込
↓サブメニュー	<p>【初期設定(通り芯)】 図面全体の基準となる縦横の基準線(通り芯)を正しく設定したい場合に使用します。その必要がなければ行わなくても構いません。</p> <p>【初期設定 (通り芯)】 初期状態で通り芯 (基準線) の設定を行います。</p> <p>縦横の間隔と文字を設定</p> 
新規作成	
図面を開く	
初期設定(通り芯)	
画像(jpg)を読み込む	
画像サイズ調整	
画像(jpg)を削除	
図面全体のサイズ変更	


画像(jpg)を読み込む

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	C. データ読込
↓サブメニュー	<p>【画像(jpg)を読み込む】 下図となる画像ファイルを読み込みます。Partsで扱える画像はjpgです。Tiffなどの画像しかない場合はJPGに変換してから読み込んでください。またJPGであっても読み込めない書式のものもあります。その場合WINDOWSのペイントで読み込んで再度JPGで保存した上で使用してください。</p> <p>【画像(jpg)を読み込む】 画面に下図用のJPG画像を貼り付けます。</p> <p>①[* .jpg]ファイルを指定</p>  <p>②貼り付け場所の対角2点クリック</p>  <p>③JPGが貼り付けられました</p> 
新規作成	
図面を開く	
初期設定(通り芯)	
画像(jpg)を読み込む	
画像サイズ調整	
画像(jpg)を削除	
図面全体のサイズ変更	

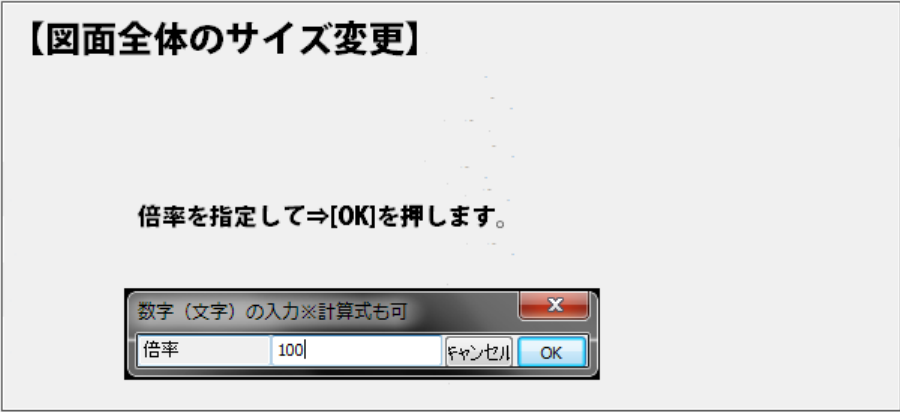
画像サイズ調整

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	C. データ読込
↓サブメニュー	<p>【画像サイズ調整】 貼り付けられたJPGのサイズおよび位置を調整</p> <p>①jpg画像左上コーナーをクリックして選択 ※基点が不明の場合範囲選択で確認</p> <p>②先にjpg画像の基準対角2点をクリック ※目印の基点は画像内任意の場所</p> <p>③次に貼り付け先の実寸の全体図の2点をクリック</p> 
新規作成	
図面を開く	
初期設定(通り芯)	
画像(jpg)を読み込む	
画像サイズ調整	
画像(jpg)を削除	
図面全体のサイズ変更	

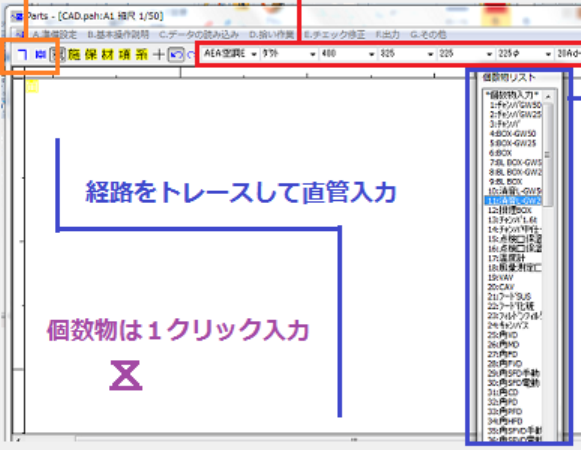
画像(jpg)を削除

概要説明	TOPメニュー → A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	C. データ読込
↓サブメニュー	【画像(jpg)を削除】貼り付けたJPGデータを削除します。
新規作成	
図面を開く	
初期設定(通り芯)	
画像(jpg)を読み込む	
画像サイズ調整	
画像(jpg)を削除	
図面全体のサイズ変更	

図面全体のサイズ変更

概要説明	TOPメニュー → A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	C. データ読込
↓サブメニュー	【図面全体のサイズ変更】読み込まれたDXF等の実サイズを倍率指定で拡大/縮小します。
新規作成	
図面を開く	
初期設定(通り芯)	
画像(jpg)を読み込む	
画像サイズ調整	
画像(jpg)を削除	
図面全体のサイズ変更	

D. 拾い作業

<p>概要説明</p>	<p>TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他</p> <p>D. 拾い作業</p>
<p>↓サブメニュー</p> <p>直管拾いトレース入力</p> <p>個数物拾い</p>	<p>【拾い作業】基本的に直管は、用途、サイズ、施工区分等の属性を設定したうえで、トレースするように経路をなぞっていきます。ダンパーなどの個数物は入力する内容をリスト選択した状態で、ボタンまたはメニュー選択しマウスクリックで入力します。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <h3 style="text-align: center;">D.拾い作業</h3> <p>③拾い作業はボタン選択でも可能</p> <p style="text-align: center;">①用途（系統） 施工区分 サイズ等の属性を設定</p>  <p style="text-align: center;">経路をトレースして直管入力</p> <p style="text-align: center;">個数物は1クリック入力</p> <p style="text-align: right;">②個数物の場合 項目をリスト選択</p> </div>

個数物拾い

概要説明	TOPメニュー → A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	D. 拾い作業
↓サブメニュー	【個数物拾い】ダンパーなどの個数物の入力も、サイズや用途などの属性を設定してから操作します。個数物リストの中から入力したいのもこリスト選択します。次に、メニュー選択後に画面をクリックすると個数物が入力されます。個数物のサイズ指定は[サイズ1][サイズ2][サイズ3]を使用します。[φ]または[A]サイズは直管をトレースする場合に使用します。
直管拾いトレース入力	
個数物拾い	

【個数物拾い】

①属性をツールバーで設定 AEA空調E ダクト 400 325

②項目をリスト選択

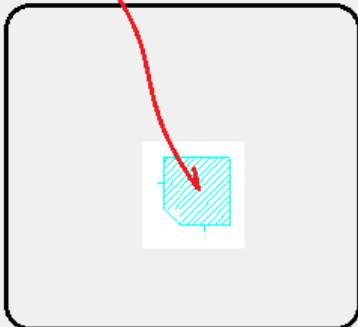
個数物リスト

- 0:個数物入力*
- 1:チェンパ/GW50
- 2:チェンパ/GW25
- 3:チェンパ
- 4:BOX-GW50
- 5:BOX-GW25
- 6:BOX
- 7:BL BOX-GW5
- 8:BL BOX-GW2
- 9:BL BOX
- 10:消音L-GW9
- 11:消音L-GW2
- 12:排煙BOX
- 13:チェンパ1.6t
- 14:チェンパ中仕
- 15:点検口保温
- 16:点検口保温
- 17:温度計
- 18:風量測定口
- 19:VAV
- 20:CAV
- 21:フードSUS
- 22:フード化粧
- 23:フードファイバ
- 24:キャンパス
- 25:角VD
- 26:角MD
- 27:角FD
- 28:角FVD

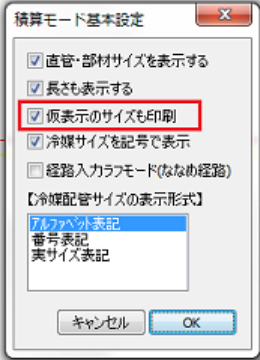
メニュー選択はボタンでも可

7 庫 別

③画面クリック



拾い図の印刷

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	F. 出力
↓サブメニュー	【拾い図の印刷】 基本的に画面に表示された図面を印刷しますが、印刷する出力のプリンタの部分をPDFのドライバにすればPDFで出力することが出来ます。
拾い図の印刷	
拾いデータ作成	
集計データの参照	
上書き保存	
名前を付けて保存	
DXForJWCで保存	
印刷	
印刷プレビュー	
印刷縮尺の設定	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <h3 style="text-align: center;">【拾い図の印刷】</h3> <p>作成したCAD図面を印刷します。</p> <p>直管等に仮表示された属性サイズも合わせて印刷する設定は基本設定で行います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;">  <p>積算モード基本設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 直管・部材サイズを表示する <input checked="" type="checkbox"/> 長さも表示する <input checked="" type="checkbox"/> 仮表示のサイズも印刷 <input checked="" type="checkbox"/> 冷媒サイズを記号で表示 <input type="checkbox"/> 経路入力カラーモード(ななめ経路) <p>【冷媒配管サイズの表示形式】</p> <p>7/16インチ表記 番号表記 英サイズ表記</p> <p style="text-align: center;">キャンセル OK</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>◆印刷手順</p> <ol style="list-style-type: none"> ①WINDOWS側で印刷するプリンタを指定 PDFで出力する場合はそのドライバを指定 ②【印刷縮尺の設定】 印刷する範囲と用紙を設定します。 ③【印刷プレビュー】 印刷される状態を確認し。 ダイアログ内の【印刷】ボタンで印刷 </div> </div> </div>

拾いデータ作成

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	F. 出力
サブメニュー	【拾いデータ作成】入力された部材を拾いまたは集計データに加工し、リストを画面にダイアログで表示します。[Parts積算-集計]の入力に使用するデータはそのダイアログの[書き出し]ボタンで書き出します。[Parts積算-集計]で使用するデータは『拾いデータ』であり『集計データ』ではありませんので設定を『拾いデータ』のほうに設定してから出力してください。
拾い図の印刷	
拾いデータ作成	
集計データの参照	
上書き保存	
名前を付けて保存	
DXForJWCで保存	
印刷	
印刷プレビュー	
印刷縮尺の設定	

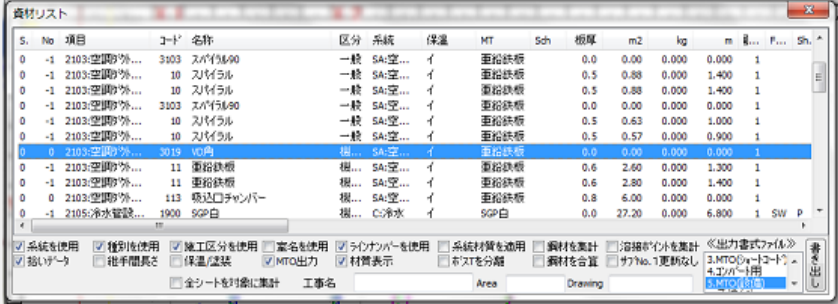
【拾いデータ作成】 メニュー選択でダイアログが表示されます

リスト選択すると画面で強調表示

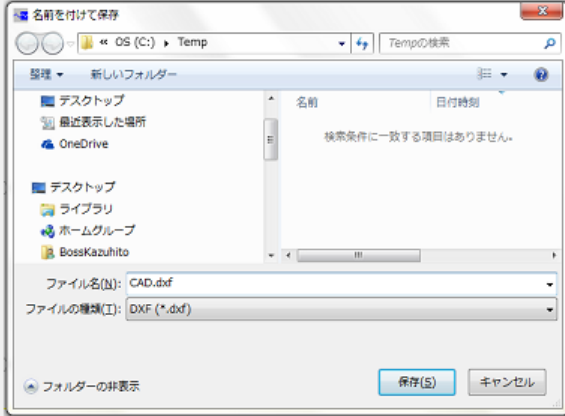
[Parts積算-集計]用の場合は
 <拾いデータ>にチェック
 これを外すと集計されて表示されます。
 そのまま使用するに使用します。

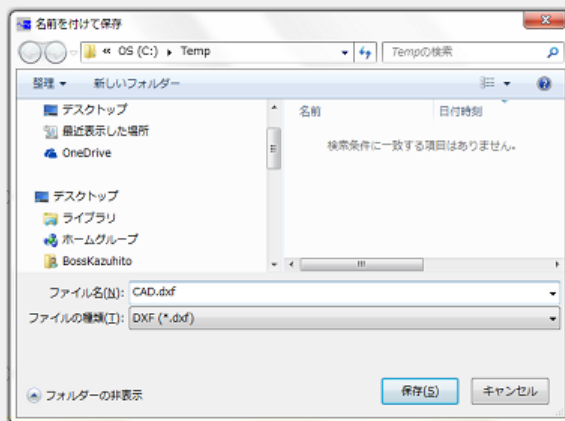
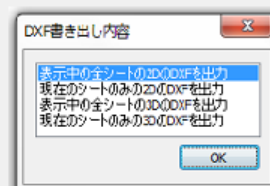
[Parts積算-集計]用の際は[MTO(設備)]を指定
 [書き出し]ボタンでCSV
 で出力

集計データの参照

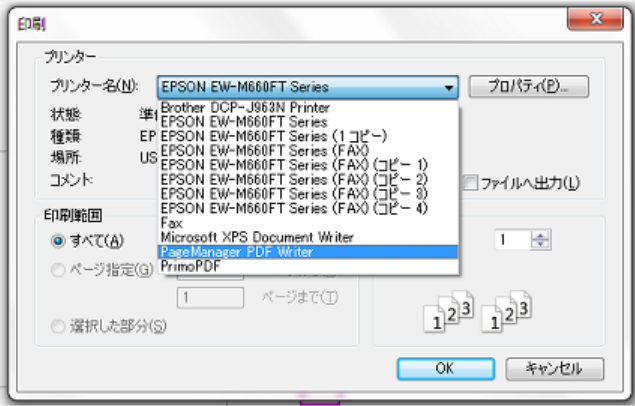
概要説明	TOPメニュー	A.準備設定	B.基本操作	C.データ読込	D.拾い作業	E.チェック修正	F.出力	G.その他
	F. 出力							
↓サブメニュー	【集計データの参照】作成されたデータを再度呼び出して参照する場合に使用します。ダイアログ内のリストを選択すると、その選択された内容の部材が赤で強調表示されます。							
拾い図の印刷								
拾いデータ作成								
集計データの参照	<div style="border: 1px solid gray; padding: 10px;"> <h3 style="text-align: center;">【集計データの参照】</h3> <p style="text-align: center;">一度データを[拾いデータ作成]で加工されたデータを画面に呼び出します。</p>  </div>							
上書き保存								
名前を付けて保存								
DXForJWCで保存								
印刷								
印刷プレビュー								
印刷縮尺の設定								

DXForJWCで保存

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	F. 出力
↓サブメニュー	<p>【DXForJWCで保存】 CADデータを他社のCADで利用する際には通常2Dの共通フォーマットのDXFで渡すことができます。その際に使用します。</p> <p>出力する内容を指定します。積算モードでは一番上の【表示中の全シートの2DのDXFを出力】を選択します。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>DXF書式で保存先を指定します。</p> 
拾い図の印刷	
拾いデータ作成	
集計データの参照	
上書き保存	
名前を付けて保存	
DXForJWCで保存	
印刷	
印刷プレビュー	
印刷縮尺の設定	

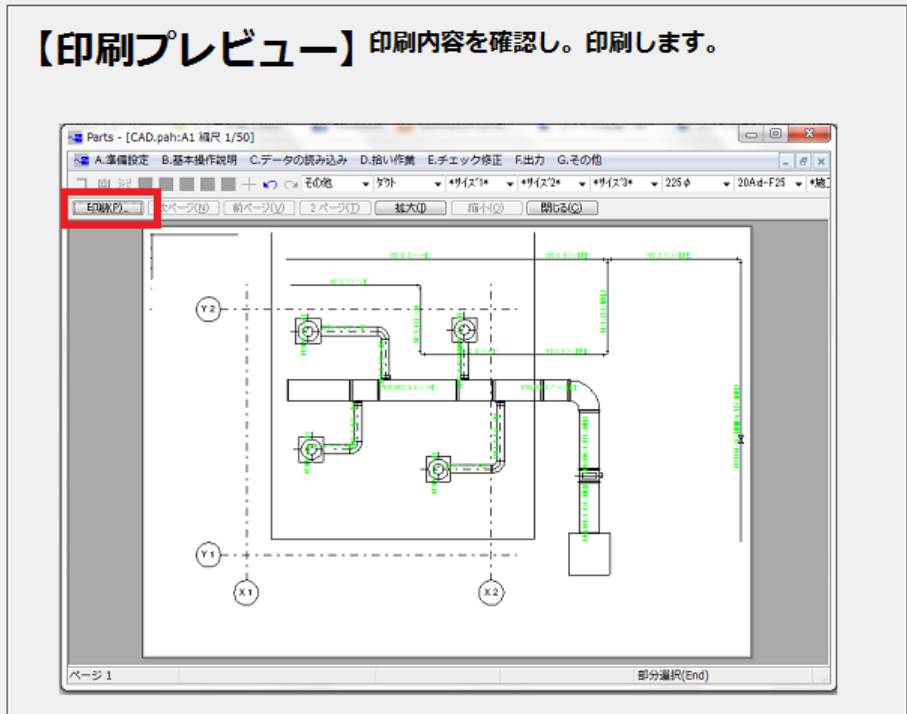


印刷

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
↓サブメニュー	F. 出力
拾い図の印刷	<p>【印刷】 画面の図面を印刷します。印刷前に画面のどの部分をどの縮尺で印刷するかを[印刷縮尺の設定]で行った後に印刷してください。</p> <p>【印刷】 印刷するプリンタを指定し、印刷します。 PDFのドライバを指定すればPDF出力されます。</p> 
拾いデータ作成	
集計データの参照	
上書き保存	
名前を付けて保存	
DXForJWCで保存	
印刷	
印刷プレビュー	
印刷縮尺の設定	

印刷プレビュー

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読み込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	F. 出力
↓サブメニュー	【印刷プレビュー】印刷内容を画面で確認します。
拾い図の印刷	
拾いデータ作成	
集計データの参照	
上書き保存	
名前を付けて保存	
DXForJWCで保存	
印刷	
印刷プレビュー	
印刷縮尺の設定	



G. その他

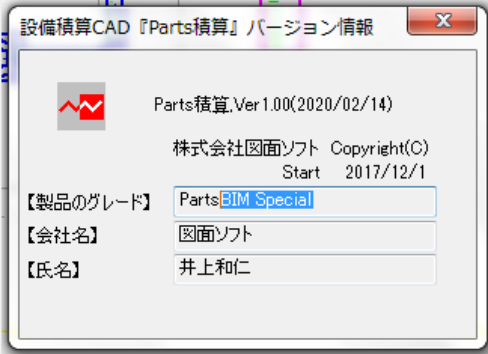
概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	G. その他
↓サブメニュー	【その他】その他の操作メニューを説明します。
バージョン情報	
ライン指定でレイヤの非表示	
ライン指定で系統の非表示	
ライン指定でレイヤの選択	
ライン指定で系統の選択	
図面ボリュームのチェック	
1行文字入力	
文字サイズ設定	
文字編集	
長さ寸法	
ブロック図形を全て分解	
読み込みデータの属性を調整	

G.その他

バージョン情報の他に、CAD作図に使用するメニューがあります。

- ◆見づらい図面でいらぬ図形をレイヤの非表示で消す
- ◆表示中の部材を選択して系統の設定をそれに合わせる操作
- ◆注釈に使用する文字入力
- ◆寸法を入力し説明する場合または長さを測る

バージョン情報

概要説明	TOPメニュー A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
↓サブメニュー	【バージョン情報】ソフトのバージョン情報を確認します。
バージョン情報	<div style="text-align: center;"> <h3>【バージョン情報】</h3>  </div>
ライン指定でレイヤの非表示	
ライン指定で系統の非表示	
ライン指定でレイヤの選択	
ライン指定で系統の選択	
図面ボリュームのチェック	
1行文字入力	
文字サイズ設定	
文字編集	
長さ寸法	
ブロック図形を全て分解	
読み込みデータの属性を調整	

ライン指定でレイヤの非表示

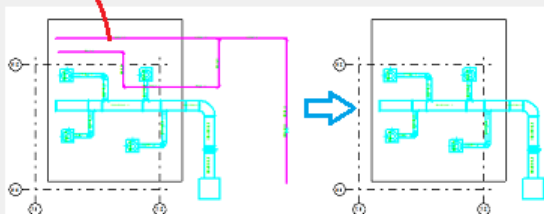
概要説明	TOPメニュー	A.準備設定	B.基本操作	C.データ読込	D.拾い作業	E.チェック修正	F.出力	G.その他
	G. その他							
↓サブメニュー	【ライン指定でレイヤの非表示】レイヤ(画層)、図形の分類属性単位で表示/非表示を指定する際に、通常はレイヤの設定ダイアログで全体的に設定するところを、画面上に表示されている図形をクリックすることで非表示の指定します。非表示にされたレイヤが何であるかを確認する場合は、[レイヤの設定]で行ってください。							
バージョン情報								
ライン指定でレイヤの非表示								
ライン指定で系統の非表示								
ライン指定でレイヤの選択								
ライン指定で系統の選択								
図面ボリュームのチェック								
1行文字入力								
文字サイズ設定								
文字編集								
長さ寸法								
ブロック図形を全て分解								
読み込みデータの属性を調整								

【ライン指定でレイヤの非表示】

DXFの下図を読み込んでトレースする場合、必要となる設備の経路の図形の他を非表示にしたいところ、これをレイヤリストで設定するのは困難です。そのような場合に、画面に表示中の図形要素をクリックしてそのレイヤを日表示するというメニューです。表示/非表示の状態は[レイヤの設定]で行ってください。非表示のレイヤはリストに非表示の欄に[×]が付いています。

①非表示にしたい線をクリック

配管のレイヤが非表示になりました。



ライン指定で系統の非表示

概要説明	TOPメニュー	A.準備設定	B.基本操作	C.データ読み込	D.拾い作業	E.チェック修正	F.出力	G.その他
	G. その他							
サブメニュー	【ライン指定で系統の非表示】用途(系統)単位で表示/非表示を指定する際に、通常は系統の設定ダイアログで全体的に設定するところを、画面上に表示されている図形をクリック選択することで非表示の指定します。非表示にされた用途(系統)が何であるかを確認する場合は、[系統の設定]で行ってください。							
バージョン情報								
ライン指定でレイヤの非表示								
ライン指定で系統の非表示								
ライン指定でレイヤの選択								
ライン指定で系統の選択								
図面ボリュームのチェック								
1行文字入力								
文字サイズ設定								
文字編集								
長さ寸法								
ブロック図形を全て分解								
読み込みデータの属性を調整								

【ライン指定で系統の非表示】

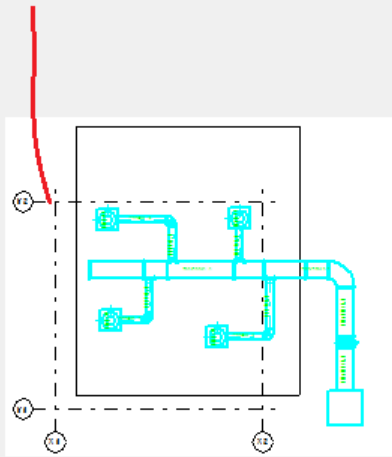
これは、[ライン指定でレイヤの非表示]の操作と同じです。

こちらは、**系統(用途)**の属性で表示/非表示を切り替えます。

表示/非表示の状態は、用途(系統)の設定ダイアログで確認します。

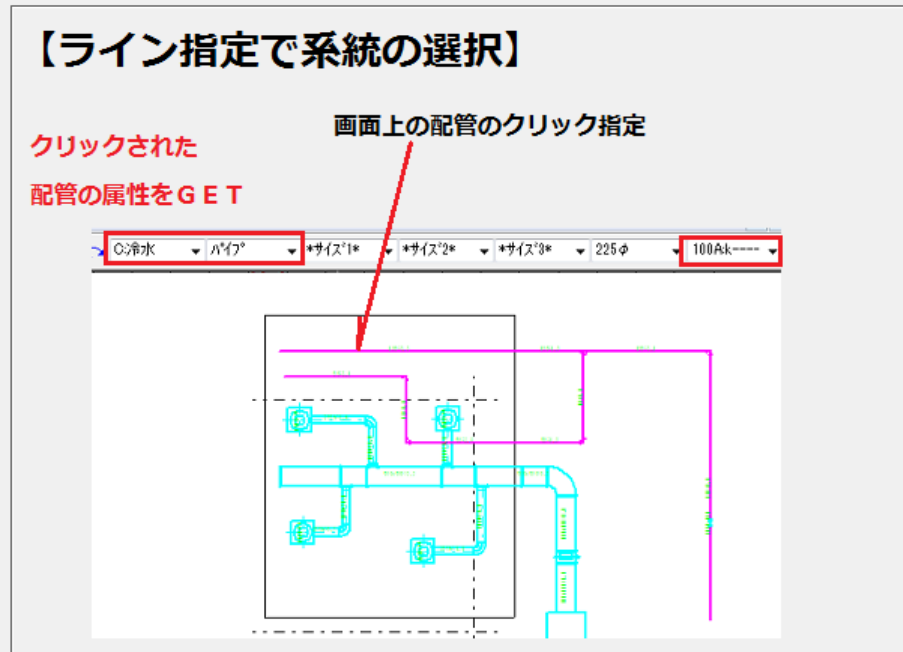
系統クラス	使用	可視	色	線種スタイル	表示	印刷	分類	種別/流注	管材
その他	x	o	=						
AOA:空調OA	x	o	=						
AEA:空調EA	x	o	=						
SOA:外調OA	x	o	=						
EA:空調EA	o	x	=	青色2	B/LAYER	1	SP	2L	SA
RA:空調RA	x	o	=	赤0	B/LAYER	1	SP	外	RA
OA:換気OA	x	o	=	青	B/LAYER	1	SP	外	換気OA
OA:換気OA-住戸	x	o	=	青1	B/LAYER	1	SP	外	換気OA
EA:換気EA	x	o	=	緑	B/LAYER	1	SP	外	換気EA
EA:換気EA-住戸	x	o	=	緑1	B/LAYER	1	SP	外	換気EA
EOA:全熱OA	x	o	=	青緑6	B/LAYER	1	SP	外	熱交換OA
EEOA:全熱EA	x	o	=	青緑4	B/LAYER	1	SP	外	熱交換EA

ライン指定でレイヤの選択

概要説明	TOPメニュー	A.準備設定	B.基本操作	C.データ読込	D.拾い作業	E.チェック修正	F.出力	G.その他
	G. その他							
↓サブメニュー	【ライン指定でレイヤの選択】 現在(カレント)のレイヤをライン(線)をクリックすることで指定します。							
バージョン情報								
ライン指定でレイヤの非表示								
ライン指定で系統の非表示								
ライン指定でレイヤの選択	<div data-bbox="443 584 1347 1249" data-label="Complex-Block"> <p>【ライン指定でレイヤの選択】</p> <p>カレントレイヤ (図形入力の際の登録先) を変更する際に、画面に表示中の線をクリックすることで行います。</p> <p>クリックした線のレイヤがカレントレイヤになります。</p>  </div>							
ライン指定で系統の選択								
図面ボリュームのチェック								
1行文字入力								
文字サイズ設定								
文字編集								
長さ寸法								
ブロック図形を全て分解								
読み込みデータの属性を調整								

ライン指定で系統の選択

概要説明	TOPメニュー → A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	G. その他
↓サブメニュー	【ライン指定で系統の選択】 現在(カレント)の用途(系統)をライン(線)をクリックすることで指定します。
バージョン情報	
ライン指定でレイヤの非表示	
ライン指定で系統の非表示	
ライン指定でレイヤの選択	
ライン指定で系統の選択	
図面ボリュームのチェック	
1行文字入力	
文字サイズ設定	
文字編集	
長さ寸法	
ブロック図形を全て分解	
読み込みデータの属性を調整	



図面ボリュームのチェック

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	G. その他
↓サブメニュー	【図面ボリュームのチェック】入力された部材の数や下図のDXFの図形要素の数を確認する場合に使用します。
バージョン情報	
ライン指定でレイヤの非表示	
ライン指定で系統の非表示	
ライン指定でレイヤの選択	
ライン指定で系統の選択	
図面ボリュームのチェック	
1行文字入力	
文字サイズ設定	
文字編集	
長さ寸法	
ブロック図形を全て分解	
読込みデータの属性を調整	

【図面ボリュームのチェック】

入力された部材数や下図の図形要素の数を確認

	現シート	他シート		現シート	他シート
線分	404(30)	0(0)	点	0(0)	0(0)
円、円弧	46(0)	0(0)	楕円	0(0)	0(0)
1行文字	8(0)	0(0)	スプライン	0(0)	0(0)
ポリライン	0(0)	0(0)	太線	0(0)	0(0)
挿入図形	0(0)	0(0)	放射線	0(0)	0(0)
マルチリスト	0(0)	0(0)	ガイド	0(0)	0(0)
寸法	0(0)	0(0)	メモ	0(0)	0(0)
引出線	0(0)	0(0)	部材	82(14)	0(0)
ハッチング	0(0)	0(0)	BMP	0(0)	0(0)
塗潰し	0(0)	0(0)	3DFACE	0(0)	0(0)

入力部材数

()内は削除された数

他シートは、シートを運用している場合に表示


積算モードではシートは使用できませんので関係ないです。

1 行文字入力

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	G. その他
↓サブメニュー	【1行文字】文字入力を行います。注釈などを図面に書き込んでください。
バージョン情報	
ライン指定でレイヤの非表示	
ライン指定で系統の非表示	
ライン指定でレイヤの選択	
ライン指定で系統の選択	
図面ボリュームのチェック	
1行文字入力	
文字サイズ設定	
文字編集	
長さ寸法	
ブロック図形を全て分解	
読み込みデータの属性を調整	

【1文字入力】 文字を入力します。

①入力場所の左下基点をクリック



②文字を書き込む

1行文字の入力

Parts 積算 CAD				←[書出]ボタンまたはダブルクリックで文字を	
文字スタイル	位置合わせ			項目	文字列
STANDARD	左下				
文字高さ	文字間	縦横比	角度		
150	0	0.86	0		

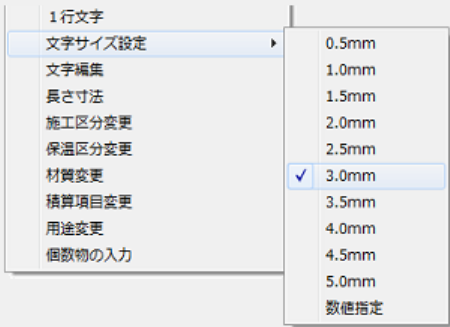
取込 書出 追加 取込 削除 書出

キャンセル OK

文字サイズ設定

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	G. その他
↓サブメニュー	【文字サイズ設定】入力する文字のサイズおよび画面に仮表示するサイズ等の文字のサイズを指定します。
バージョン情報	
ライン指定でレイヤの非表示	
ライン指定で系統の非表示	
ライン指定でレイヤの選択	
ライン指定で系統の選択	
図面ホリウムチェック	
1行文字入力	
文字サイズ設定	
文字編集	
長さ寸法	
ブロック図形を全て分解	
読込みデータの属性を調整	

【文字サイズ設定】 入力文字のサイズまたは直管等に仮表示される文字の大きさを指定します。



1行文字	
文字サイズ設定	0.5mm
文字編集	1.0mm
長さ寸法	1.5mm
施工区分変更	2.0mm
保温区分変更	2.5mm
材質変更	<input checked="" type="checkbox"/> 3.0mm
積算項目変更	3.5mm
用途変更	4.0mm
個数物の入力	4.5mm
	5.0mm
	数値指定

文字編集

概要説明	TOPメニュー→ A.準備設定 B.基本操作 C.データ読込 D.拾い作業 E.チェック修正 F.出力 G.その他
	G. その他
↓サブメニュー	【文字編集】入力した文字を編集します。
バージョン情報	
ライン指定でレイヤの非表示	
ライン指定で系統の非表示	
ライン指定でレイヤの選択	
ライン指定で系統の選択	
図面ホリウムチェック	
1行文字入力	
文字サイズ設定	
文字編集	
長さ寸法	
ブロック図形を全て分解	
読み込みデータの属性を調整	

【文字編集】 入力された文字を後から変更します。

Parts 積算 CAD ①文字をクリック

②文字を編集

文字の編集

Parts 積算 CAD ←[書出]ボタンまたはダブルクリックで文字を

文字スタイル 位置合わせ
STANDARD 左下

文字高さ 文字間 縦横比 角度
150 0 0.860000 0

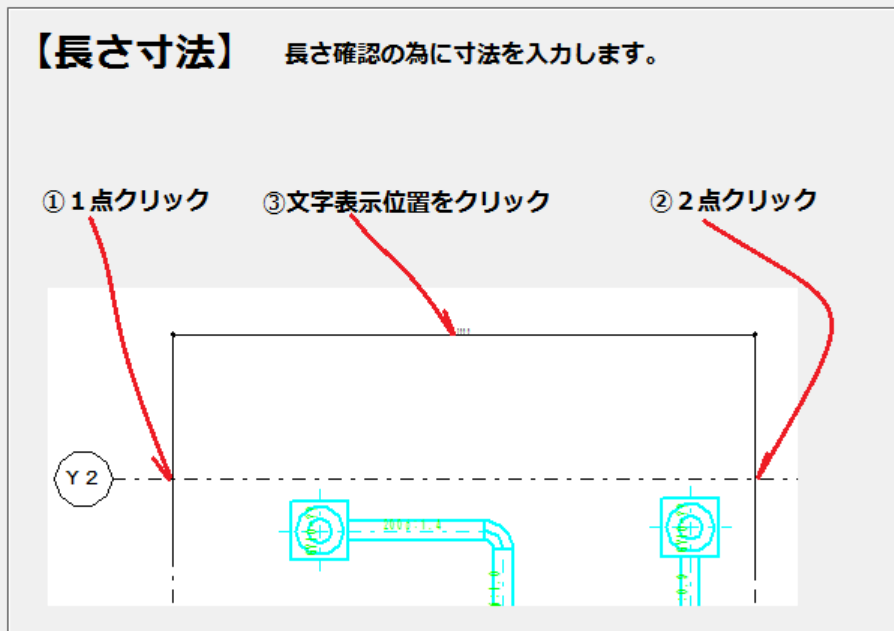
項目 文字列

取込 書出 追加 取込 削除 書出

キャンセル OK

長さ寸法

概要説明	TOPメニュー	A.準備設定	B.基本操作	C.データ読込	D.拾い作業	E.チェック修正	F.出力	G.その他
	G. その他							
↓サブメニュー	【長さ寸法】線を2本指定し、その間の寸法を表示します。							
バージョン情報								
ライン指定でレイヤの非表示								
ライン指定で系統の非表示								
ライン指定でレイヤの選択								
ライン指定で系統の選択								
図面ボリュームのチェック								
1行文字入力								
文字サイズ設定								
文字編集								
長さ寸法								
ブロック図形を全て分解								
読み込みデータの属性を調整								



ブロック図形を全て分解

概要説明	TOPメニュー→	A.準備設定	B.基本操作	C.データ読込	D.拾い作業	E.チェック修正	F.出力	G.その他
	G. その他							
↓サブメニュー								
バージョン情報								
ライン指定でレイヤの非表示								
ライン指定で系統の非表示								
ライン指定でレイヤの選択								
ライン指定で系統の選択								
図面ボリュームのチェック								
1行文字入力								
文字サイズ設定								
文字編集								
長さ寸法								
ブロック図形を全て分解	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>【ブロック図形を全て分解】</p><p>DXFファイルを読込んだ際に寸法線や文字がブロック図形になっている場合、文字として反応しません。</p><p>そのような場合に一度すべての図形を分解し文字として認識できるようにします。</p></div>							
読み込みデータの属性を調整								

読み込みデータの属性を調整

概要説明	TOPメニュー	A.準備設定	B.基本操作	C.データ読込	D.拾い作業	E.チェック修正	F.出力	G.その他
↓サブメニュー	G. その他							
バージョン情報								
ライン指定でレイヤの非表示								
ライン指定で系統の非表示								
ライン指定でレイヤの選択								
ライン指定で系統の選択								
図面ボリュームのチェック								
1行文字入力								
文字サイズ設定								
文字編集								
長さ寸法								
ブロック図形を全て分解								
読み込みデータの属性を調整	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【読み込んだCADデータの拾い属性を調整】</p> <p>PartsBIMで作成した図面データには、施工区分および保温区分が設定されていません。</p> <p>そこでここでは、その属性を一度現在画面に設定されている[施工区分]と[保温区分]で初期化します。</p> <p>部分的な属性の変更は[施][保]のボタン操作で行ってください。</p> </div>							

株式会社凶面ソフト

Parts 積算マニュアル_[拾いナビ]編

2022年01月13日